

秋田

Think Future Act Now
持続可能な社会実現へのデザイン



秋田県秋田市



一般社団法人 あきた地球環境会議(CEEA)

一般社団法人

あきた地球環境会議／CEEA

あきた市地球温暖化防止活動推進センター

一般社団法人あきた地球環境会議(CEEA)は、地球と共生する持続可能な脱炭素・循環型社会の形成を目的として、多様な環境活動を国内外で展開する実績を有しています。ESD活動拠点としては、地域小中学校の先生達と連携しながら構築した授業プログラム2件が、環境省の「ESD 環境教育モデルプログラム ガイドブック3」へ「MOTTAINAI(もったいない)の松林を秋田方式で未来へ」「地球の仲間とつながろう森の人「オランウータン」と一緒に生きる喜びを!」として掲載され全国へ発信されています。

本事業は、令和3年度気候変動アクション環境大臣表彰を受賞しました。

■組織・団体が取り組む課題(テーマ)[SDGs]



写真について

上: グループワーク 仮政党的のスクールマニフェスト作成
下左: グループワーク
当選政党的のマニフェストのロードマップ(実行計画)づくり
下中: 実物の投票記載台や投票箱を使った模擬投票
下右: 「気候変動対策×主権者教育」集合写真

〒010-0912 秋田県秋田市保戸野通町7-33 2F
電話 018-874-8548
FAX 018-874-8548
E-mail info_ceeda@ceeakita.org
URL http://www.ceedakita.org/



活動紹介

「気候変動対策×主権者教育」プロジェクト



プロジェクト概要

今後の社会や気候変動対策において次世代の意見が政策に反映されることがとても重要と考えています。気候変動対策を選挙等における争点に位置付けることができる市民を増やすことを目指し、気候変動に関わる環境教育として本プログラムを構築し実施しています。気候変動を題材とした主権者教育に関する講義と体験学習を通して、身近な環境課題解決への行動促進と模擬投票による社会参画意識の向上を目指すものです。具体的には、気候変動の現状・予測を学ぶ講義からスタートし、次に学校の特色を生かした対策について、仮政党的によるグループワークでの気候変動対策スクールマニフェストを作成する政策立案。その後、模擬投票を経て、当選仮政党的のマニフェストについて、全員で「誰が」「いつまでに」「何を」「どのように実現していくか」を、ロードマップワークシートを用いて具体化する行動実行計画を作成します。



ESD実践のポイント

1)有限性:地球温暖化や気候変動の学習を通じて、資源の有限性を学ぶ。2)連携性:環境問題と自分自身の生活や社会とのつながりを実感し互いに協力して課題解決する必要性に気づく。3)責任性:社会の一員として、自分たちの未来を創る責任があることを意識する。更に、本プログラム実施にあたっては、①中立性と客観性をもつこと、②意見の多様性を尊重すること、③目標を明確化すること、に注力しつつ、2030年をゴールとした実行計画を具体的に検討策定するところで落選仮政党的のマニフェストの考え方が復活するなど、最終的には地域を巻き込み社会へ貢献するロードマップが完成し、高校生一人一人の大きな成長が見られます。これにより、自らが責任を持って社会を創っていく思考形成と、将来的には地域イノベーションの核となる、あるいは政策決定等に関わる人材が育成されることが目標です。

担当者からのメッセージ

高校生の柔軟な発想や思考で描かれる未来の姿は毎回驚かされるものばかりで、持続可能な社会の実現に期待を持ち活動しています。また、新たに小中学生を対象に、故郷の魅力を理解した上で海外の友だちと気候変動対策と一緒に考える視点の「ワールド気候スタディーズESD/SDGs」をスタートし、キリバス共和国やパラオ共和国等とのオンライン授業を展開し、全国へ波及させる予定です。ESDを通して人材が育成されSDGsを達成することが大切と考えています。



理事・事務局長 福岡 真理子さん